



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R7,5,15 No,5

郡築小ホームページ

運動会で、集団生活で協調性などを身に付けています

先日、運動会全体練習を行いました。まず、服装が整っていたことと、開始時刻に運動場に整列したことに感心しました。また、先生の話をよく聞いて、ときばきと行動する子供が多くいて頼もしく感じました。

以前、災害時にもかかわらず、食糧配給所やタクシー乗り場で整列している日本人の姿が海外から称賛されました。この日本の整列文化を構築した一因には、幼・保育園、小・中学校時に行う「集団行動」（集団生活する中で、ルールやマナーを守り、協調性をもった行動）の浸透があると思います。

「集団行動」には、賛否があり、「個人の自由を制限する」や「意欲や自主性を損なう」などの否定的な考えがあるのも事実です。その反面、「安全に行動できる」「社会性や協調性を育む」「効率よく活動できる」などの肯定的な考えもあり、最近では上述したような有効性から見直されています。

本校では、「集団行動」の目的や必要性を理解させたり、その都度よかった点や改善点をフィードバックしたりしながら、子供たちの成長を促しています。そして、「自己教育力の育成」に繋がたいと考えています。

子供たちに「運動会」を通して、普段の生活では体験できない「集団行動」に触れさせ、将来生きて働く「自己教育力」を育てたいと思っています。



始業前の応援練習風景

子供のコミュニケーション能力を育てる その①

コミュニケーション能力は、社会生活において個人の信頼関係の構築や組織の円滑な運営上大切な能力です。このコミュニケーション能力を高めるために、家庭や学校で次のことを大切にしていきたいと思っています。

「子供の話を最後まで聞く（話を途中でさえぎらない）」

「子供の話を最後まで聞く（話を途中でさえぎらない）」ようにすると、子供は「自分の話に価値がある」と感じ、自信をもって話すようになるものです。ご家庭でも、（大人の価値観で）くだらない話と思っても「そうなんだね」や「それでどうなったの？」などと、最後まで話を聞く姿勢を見せてほしいと思います。大人の都合で「それよりまず宿題しなさい」や「その話はもう分かった」などと話を途中でさえぎってしまうと、子供は話すこと自体を控えるようになるかもしれません。どうしても話を聞く時間がない場合は、「後で聞くから待ってってね」と言い、後で「さっきの話を聞かせて」と言うようにすると、子供は安心すると共に待つことも覚えると思います。

（次回「その②」を掲載します）

水泳学習の時期について（お知らせ）

例年6月から水泳学習を始めておりましたが、今年度からは9月に始めるようにしました。理由としましては、過去3年間の気象状況を調べましたところ、平均気温比で9月の方が6月より3℃以上高いこと、平均降水量比で9月の方が6月の約3分の1の降水量であること、その他熊本県は夏場（6月～8月）の雷の発生頻度が高い傾向にあることからです。子供たちには、（降水量が少なく）気温も水温も高い中で、伸び伸びと水泳学習に励んでほしいと思っています。

学校ホームページもご覧ください。「学びの部屋」では、学級毎に子供たちの活動の様子を紹介しています。